



今帰仁村

議会だより



R6

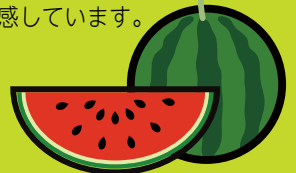
No. 175

9.1 発行



一般質問と答弁	2p
議決一覧(臨時会・定例会)	10p
視察研修	11p
叙勲・村議会議員補欠選挙	12p
小学生傍聴・編集後記	12p

私は崎山区で農業を営んでいる山城恒大(32才)です。農業を始める以前は、東京で介護福祉士として勤務していましたが、故郷でスイカ栽培を頑張っている父、叔父、兄の姿を見て自分でもやってみたいと思い、帰郷してスイカ栽培を始めました。いざ始めてみると病虫害発生など又、農薬・肥料・ハウスのビニール等の資材の高騰など栽培の大変さ難しさ、経営の厳しさを痛感しています。今後も今帰仁のブランドであるスイカ栽培で今帰仁村を盛り上げられるよう精一杯頑張ります。



一般質問

6月定例会

会期日程（6月12日～20日）

7名が一般質問しました 6月13日（木）・14日（金）（通告順）

3P	根路銘弘美	① 役場庁舎内交流スペースの活用について ② 学校給食費の無償化について ③ 一人暮らしの終活について
4P	座間味 靖	① キャリア教育について ② 職員研修について ③ 字費について ④ 字の合併について ⑤ 身寄りのない遺体対応について
5P	島袋 誠	① 与那嶺区墓地道整備について ② 村立小学校・中学校における始業前及び終業後の電話対応について
6P	島袋 輝也	① 物価高騰に苦しむ村民生活の支援策について ② 福祉行政について ③ 村の自然景観の保全について ④ 旧湧川小中学校跡地について ⑤ 今帰仁小学校工事について
7P	與那 勝治	① 交通安全対策について ② 県外や国外からの労働者について
8P	山城 太	① テーマパークジャングリアとの連携について ② 村内道路沿道の樹木の管理について ③ 学生の通学費支援について ④ 村管理の水道管について
9P	東恩納寛政	① 農道沿いの用水路擁壁の一部損壊と不法投棄禁止の看板設置について ② 陸閘ゲートの運営について

●の数字は掲載された質問です。それ以外の質問は紙面の都合上割愛されています。本会議録については各字公民館に配布の予定です。詳しく調べたい方は、公民館もしくは議会事務局までお立ち寄りください。

問1 役場庁舎内交流スペースの活用

これまでどのような活用がなされてきたか伺う。

答 久田浩也村長

来庁者の待合スペース、各種展示やテレビモニターを活用した広報活動を行った。また、給付金の申請窓口のブースを設置するなど有効活用している。

問 村としては駐車場も完備された中で、村民にどのように活用をしてほしいのか伺う。

答 総務課長

現在は、各福祉週間、児童福祉週間、健康を考えるフェアなど展示を主に行っている。



根路 弘美 議員

問2 学校給食費の無償化

る。また、マイナンバーカードの普及についてはモニターを設置している。今後は村民が使いやすい、訪れやすい庁舎の構築に向けて色々な面で活用していきたい。

県は給食費を無償化する市町村に対し、中学生がいる世帯についての費用の1/2を補助するとの方向性を示している。今帰仁村の今後の方向性を伺う。

答 教育長

現時点では県からの詳細な説明等がないことから情報収集に努め対応を検討していく。

問 給食費はこの5月から小学生890円、中学生1,350円値上がりしているが、保護者からの声は届いているか。

答 学校教育課長

令和6年度から給食費を改定した上で村長の施策または議員各位の協力を得ながら、保護者の負担額については1/2助成する軽減策を図っているため、特に保護者から給食費に関する意見は届いていない。

問 アレルギーで弁当を持ってくる子に対して、弁当持参の助成をしてもらえるか伺う。

答 村長

助成については県との意見交換の中で提言、精査していく。

問3 一人暮らしの終活

一人暮らしの方が自分らしく「人生の終い方」終活を安心して迎えるために行政としてできることはないか伺う。

答 村長

終活における今帰仁村の方向性について、「終活」は、これからの人生における自分自身の希望を改めて認識でき、「よりよく生きる」ことにつながるものと理解している。本村においても関係機関と連携を図り、引き続き「終活」の周知、啓発に取り組んでいく。

問 40歳以上の一人暮らしの1838世帯数について多いととるか少ないと考えるか伺う。

答 健康づくり推進課長

世帯数から見ると全体の4割程度を占めているので、当局としては多いと考えている。

問 一人暮らしの困りごと相談について伺う。

答 健康づくり推進課長

令和5年度116件、その中でも多いのが生活に関するサービス、介護、健康、認知の相談があった。

問 今帰仁村でも自分が亡くなったときに葬儀をしてくれる人がいない方が増えてきているような気がする。

福岡市の社会福祉協議会での研修の中で「ずーと安心やすらば事業」で葬儀をしてもらうときに預託金を預かる事業があった。今帰仁村も終活について前向きに検討していく考えはあるのか伺う。

答 健康づくり推進課長

全く身寄りがない方は多いほうではないが、本人の気持ちを尊重する上で終活は注目を浴びている。本村でも医療機関や介護事業所のほか、家族身寄り、知人、友人を含めた形で今後の人生の終末期に関する考え方をまとめる人生会議（ACP）の普及等の取組みなども行っている。終活に関することも相談があった場合、必要と思われる方に関しては、終活準備ノートを活用するなど、今後のよりよい人生を過ごすために、整理の仕方などの情報を提供していきたい。

問1 キャリア教育



座間味 靖 議員

沖縄県教育委員会は児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、自身の

変容や成長を自己評価できるよう工夫された「キャリア・パスポート」を推進しているが、本村の具体的な取組み状況を伺う。

答 玉城奎教育長

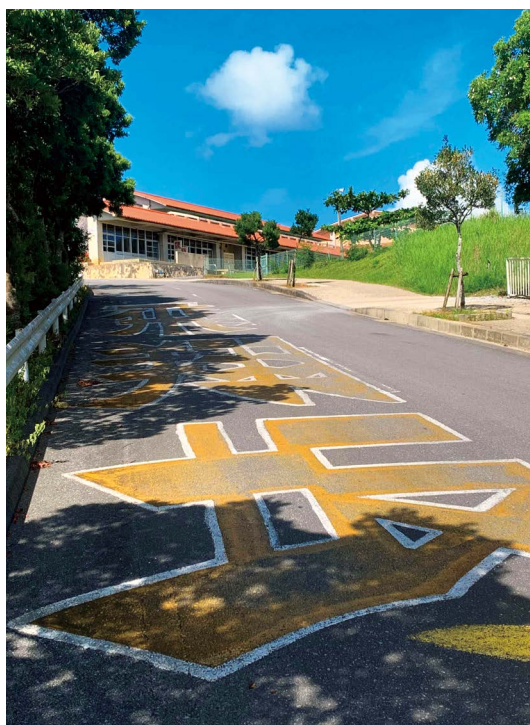
キャリア・パスポートの推進について、国、県からの例示資料を参考に、各学校で工夫しながら、児童生徒、個々のキャリア形成に生かすため、活用している。

問 小学校から中学校への引継ぎはスムーズにいくと思

うが、中学校から高校への引継ぎが課題と感じている。中学校から高校への引継ぎについて伺う。

答 学校教育課長

中学校から高校への引継ぎについては、生徒自ら高校に持つていくのが原則であるが、個別の指導計画と併せ、



今帰仁中学校

キャリア・パスポートの写し等を中学校から高校へ送ることはできると考える。

問2 職員研修

職員の資質向上やスキルアップ、住民サービスの向上には職員研修が重要だと思いが、初任者研修、中堅研修、管理者研修、ハラスメント研修等、今年度計画があるか伺う。

答 村長

令和6年度において職員研修計画を作成し、各種研修を実施している。

問3 字費

本村の字費は各字まちまちであり、住民（移住者を含む）から不満の声がある。生活困窮者や後期高齢者は無料、その他は月500円か1,000円の字費にし、不足分は村が補助してはどうかと考えるが見解を伺う。

答 村長

現在、各区における字費について、行政は関与しておらず、補助についての考えはない。

問4 字の合併

公民館の老朽化や人口減少により区長や書記等のなり手不足、青年会、婦人会、老人会等の組織の運営が厳しい字がある。字の合併について区長会等で意見交換してはどうかと考えるが見解を伺う。

答 村長

区長会等で合併に対する

意見交換会をすることについて、各字の考えのもと、合併の必要性に応じ、議題にのせていただければと考えている。現在、行政から合併を促す考えはない。

問5 身寄りのない遺体対応

5月21日の新報に身寄りのない遺体は死亡地の市町村が火葬・埋葬を担うとあるが、ここ3年間の状況を伺う。また、本村では独居者が将来に不安を感じているが、対策があるか伺う。

答 村長

身寄りのない遺体として本村で取り扱った件数は、過去3年間で1件である。ひとり暮らしの方々が抱える不安について、「健康や病気に関すること」から、「住まいに関すること」まで多種多様であり、地域包括支援センターの総合相談機能を十分に発揮し、関係機関と連携の上、それぞれの不安や困りごとの解決に取り組んでいく。



島袋 誠 議員

問1 与那嶺区墓地道整備

村道与那嶺線の整備も進捗し、数年前より字から要望されている墓地道の整備も進むのではないかと地元住民は期待している。伊是名島までかかる海底ケーブルも付近の海岸に設置されていることもあり、道路整備は必要不可欠と考えるが村としての見解を伺う。

答 村長

与那嶺地内における当該道路の整備については、現行の道路部分が私有地上にあることなどから、関連部署による現場踏査や関係者からの意見拝聴後、現状の的確な把握を行った上で、村としての対応を検討していく。

問 梯梧荘跡地から墓に続く道で仲尾次との境界までアスファルト整備はできない

かなど、村道与那嶺線も整備しており、今がチャンスと近隣住民、区民は捉えている。もちろん予算の組み方も全然違う、色々な策を練って、海底ケーブルの件も含め一緒に整備できないか伺う。

答 建設課長

当該墓地への進入路として、近くで整備されてきている与那嶺線と並行して、整備ができないかということだが、村道与那嶺線は昨年度から工事を進めており、今年度で完了予定である。村道与那嶺線は補助事業で進めており、村道で道路認定

がないと、事業はできない。今回、議員のいう箇所に関しては村道ではないため、同様の補助事業を活用しての整備はできない。

問 事業内容の相違、村道ではないことは理解している

が、海底ケーブルが伊是名島に通っており、全長23キロ余り、沖縄県でも2番目に長い海底ケーブルである。運用開始が平成15年に1号機、平成18年に2号機が稼働し、20年以上経過している。メンテナンスを含め、総合的、複合的に村道の整備ができる方法を考えていただけないか、再度伺う。

答 村長

当該墓地において、課題も山積しているという状況は否めない。大変、由々しき事態だと認識している。電気は空気や水と同様に生活に不可欠な存在だと思っている。この沿線上に伊是名伊平屋があるということを確認した上で電力インフラは、情報発信、離島の交通



村道与那嶺線

応答メッセージ等の対応ができないか伺う。

答 教育長

児童生徒の欠席、遅刻などの連絡については多くがメールを活用して連絡が行われ、始業前の対応は減少していると推測するが、いまだ教職員が電話対応に時間を費やしている状況がある。

問2 村立小学校・中学校における始業前及び終業後の電話対応

始業前、終業後に授業準備の作業等を行っている教員がおり、その際の電話対応に苦慮していると伺っている。教員が心身ともに充実した状態で子どもたちと向き合い、効果的な教育活動を継続して行う環境を整えるため、電話対応の自動

時間外の電話対応について、留守番電話等の導入を調査研究しているところであるが、緊急性のある入電かなど運用方法等の課題もあり、導入には至っていない。教職員の働き方改革の面からも、導入に向けて検討していく。



島袋 輝也 議員

問1 物価高騰に苦しむ 村民生活の支援策

物価高騰の影響により、生活者や事業者は様々な分野で大きな負担を受けている。生活者や事業者に対し、村の支援策を伺う。

答 村長

物価高騰の支援策は、令和6年度の当初で畜産農家、漁業従事者、農業従事者に予算を計上している。今定例会の補正で、マンゴー農家、スイカ農家に予算を計上し、支援をする予定である。

問2 福祉行政

村社会福祉協議会の村補助金は、他市町村の状況を

調査し、社協と話し合うと12月と3月の定例会で答弁がある。その後の取り組み状況を伺う。

答 村長

社会福祉協議会への村補助金について、他市町村の状況調査と社協との話し合いを並行して取り組んでいる。

問3 村の自然景観の保全

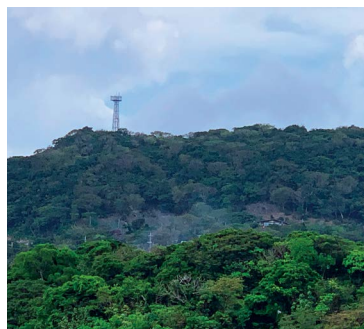
本部半島中央部の連山の一面を形成している乙羽岳西側には熱帯カルスト地形が広がっている。熱帯カルスト地形は、その特徴ある自然や風土景観の保護と自然利用の増進を図るため、平成18年3月28日に沖縄海岸国定公園に編入されてい

る。本村の景観条例では良好な景観の形成、良好な景観を保全し創造するとあるが、乙羽岳近くでは盛り土などで山並み、緑の景観が損なわれている。

(1) これまでの村の対応。

(2) 開発は、沖縄県県土保全条例、今帰仁村景観条例に諮り問題ないか。

(3) 盛り土は、周辺住民への安全対策が取られているか3点伺う。



乙羽岳の麓

答 村長

(1) 5月上旬、議員から指摘があった場所について現場踏査をし、住民課環境衛生係から保健所へ現状報告を行っている。(2) 沖縄県県土保全条例について、県の確認作業が行われている。今帰仁村景観条例について、

事前協議及び届出が未提出のため、事業者へ届出るよう指導する。(3) 沖縄県赤土流出防止条例に関する届出に基づき、施行業者が行っている認識している。

問4 旧湧川小中学校跡地

あいあいファームの破産後の湧川小中学校跡地利用の現状について。(1) 債権等について。(2) 今後の跡地利用について村の方針2点伺う。

答 村長

(1) 令和元年に破産手続きが行われ、令和3年7月に破産管財人と動産無償譲渡契約を結び、手続きを終えている。債権等はない。(2) 村の方針は、湧川小中学校跡地の活用に関し、令和4年3月湧川区から要望のある株式会社ジャパンエンターテインメントの本社誘致を実現すべく協議を重ねてきたが、活用を断念する旨、5月下旬に報告を受けている。今後跡地利用に関し、湧川区の意見も拝聴し検討する。

問5 今帰仁小学校工事

今帰仁小学校建設工事は、4年にも及ぶ長期の建設事業である。園児の快適な保育環境や児童生徒の快適な学習環境を確保するための対策を伺う。

答 教育長

認定こども園園児及び小学校児童の快適な保育・学習環境を確保する対策については、低騒音型、低排出ガス建設機械の活用や躯体等の工事の際に設置する足場外側のネット展開など、工事に係る騒音等の影響を軽減できるよう努めていく。



今帰仁小学校新校舎工事

問1 交通安全対策

警察庁交通局の令和4年における交通事故の発生状況によれば、児童に関する交通事故発生状況として、登校中、下校中の事故が4割に上ると報告がある。通勤や帰宅時間帯は交通量も多くなり、ドライバーも時間に追われて運転している傾向が見受けられる。登校中や下校中の子供たちを、悲惨な交通事故から守ることも、交通事故で加害者や被害者を生まないためにも、交通安全対策について村当局の見解を伺う。

答 教育長

各学校において登校時、通

答 総務課長

当初予算に交通安全対策費として予算を計上しているが、どのような対策をしているのか伺う。



国道505号 信号機のない横断歩道(謝名区)

学門付近や主要道路の交差点、横断箇所等において教職員や地域の方々、保護者等が見守りを行っており、交通被害に遭わないよう各学校で交通安全指導を行っている。

4年度はカーブミラー、5年度は今帰仁中学校前から今泊までの村道の色褪せた中央の線を引き直した。

交通安全対策として、仲

尾次青年会が独自に看板を製作し、区内の交通事故が増えている箇所に設置する取組があり、仲宗根区内においても事故が起こった危険箇所に、子ども飛び出し注意の看板を設置した事例がある。このように、個人で交通安全を促す取組をしている事例もあるが、他人任せではなく、自分事として交通安全対策を考えてほしいと願っている。看板を設置するにも予算が必要であり、交通安全対策のため、村から字等に対し補助や助成があるか伺う。

答 総務課長

議員がいうように、自分事として考えることが交通安全につながると思う。現在、補助金制度はないが、前向きに考える要素は大きい。今後検討はできると考える。

問2 県外や国外からの労働者



交通安全対策看板(仲尾次区)

昨今の人口減少問題に伴い、本村においても外国人労働者の数が増えていると思われる。産業振興を図るため、このような労働者が宿泊できるような施設の整備は必要ではないかと考えるが、見解を伺う。

答 村長

産業振興を図るため、労働者確保が課題と認識をしている。今後、宿泊施設の整備については、情報収集に努める。

問 県外・国外の労働者の居住について雇主が確保しなければいけない。しかし、居住スペースを確保できる環境がない経営者は、貴重な人材を受け入れることが

困難な状況である。実際に私に相談があったが、求人を出すと県外から問合せは来るが、やはり泊まる場所がない。どうしたらいいか。という内容である。労働者の居住環境を確保する観点からも、新たな村営住宅を建てる計画があるか伺う。

答 総務課長

村営住宅は子育て世帯を対象としている。今は空きがない状況でもあり、議員のいう海外労働者等に対する提供は難しい。

問 村営住宅建設は相当の時間がかかる。そこで沖縄県畜産研究センターの宿舎があり、現在は敷地の中に入れない状況であるが、そこを村が買い取ってリフォームし、就労者や村民に賃貸できないかと考えているが、見解を伺う。

答 企画財政課長

県の施設であることから、まずは確認を取らなければならない。



與那 勝治 議員



山城 太 議員

1 テーマパークジャン グリアとの連携

具体的な連携や雇用対策、
取り組み等伺う。

答 村長

令和2年10月、今帰仁村と株式会社ジャパンエンターテイメントとの間に6項目について包括連携協定を交わした。雇用対策として、令和6年8月頃、正式募集を開始予定との報告を受けている。取組については、村民雇用促進について意見交換を行っている。

問 8月頃に正式募集とあるが、全国一斉に募集をかけるのか。それとも県内なのか伺う。

答 企画財政課長

全国規模での募集になる。

問 那覇市、名護市では説明会等があったが、地元今帰仁村では説明会等を行わないのか。地元住民に対しての要請等は行っていないのか伺う。

答 企画財政課長

今帰仁村での説明会は、現在予定はない。名護市を北部の拠点という考え方を示している。

問 開園後の今帰仁村民割について要請を行ったのか伺う。

答 企画財政課長

新聞報道にあったとおり、県民割を検討するなど、現在考慮しているとの回答があった。

2 村内道路沿道の樹木の管理

沿道の樹木の枝が車道へ伸びている箇所が所々に見受けられるが、大型車通行時の危険度が増すと思うが、対策等を伺う。

答 村長

指摘の道路について、沖縄県が管理する道路であり北部土木事務所へ確認したところ、予算の範囲内で優先度を勘案し適正な道路管理を行うとの回答をいただいた。

問 村道中央線はどのようになっているか伺う。

答 建設課長

村道は村が管理するが、個人所有地は個人で伐採することが原則である。

問 中央線は仲宗根から今泊まで続いているが、バス、トラック、ダンプが高頻度で通行している。歩道の柵に樹木が生えているが、どのような取扱いが伺う。

答 建設課長

村道中央線は片側歩道であり、その中にある植樹柵は、道路敷内であるため、道路管理者が管理する。

問 梅雨が明けて、観光シーズンが目の前に来ており、レンタカーも増えるので、現場を確認してほしいが対応を伺う。

答 建設課長

村内一円、道路の掃除、観光地を含めた道路の清掃、なるべく伸びる前に管理していきたい。

3 学生の通学費支援

バス通学している生徒や保護者への運賃支援等について伺う。

答 教育長

現在中学校では、旧兼次中学校区、旧湧川・古宇利小中学校区、天底小中学校では旧湧川・古宇利小中学校区の児童生徒を対象にスクールバスを運行している。個別に路線バス等を利用している児童

生徒については把握しておらず、生徒や保護者への運賃支援等は検討していない。

問 高校生の通学費支援はどのようになっているか伺う。

答 学校教育課長

県の事業として通学費の助成がある。詳しい要件等は承知していないが、住民税所得割が非課税の世帯が支給の対象となり、また、遠隔地からの通学は、1か月1万5,000円を超える分の通学費に対して助成されると認識している。

4 村管理の水道管

劣化破損や事故破損時等の対応を伺う。

答 村長

劣化破損について、水道課にて対応し、管理者が費用を負担している。事故破損については、水道課職員及び休日の受託業者が現場対応している。

問1 農道沿いの用水路擁壁の一部損壊と不法投棄禁止の看板設置

湧川鎌城原墓地団地近く、農道沿い用水路の擁壁が一部損壊し、複数のコンクリートの破片、塊が川底に転がり、水流を阻害している。特に農道沿いにそびえ立っている大木の根元に食い込んでおり、その大木が根元ごと落下した場合、道路の陥没等大規模な災害となるおそれがある。①コンクリート破片の処理と擁壁の再構築。②用水路周辺の雑木伐採と不法投棄禁止の警告看板の設置と点検。

答 経済課長
現場を確認し、対応を協議する。

答 住民課長

②について、議員提供の資料には、廃家電、テレビが映っているが、議員がいう箇所について、現場を確認すると側溝の脇に廃材が置かれていた。今後、パトロールをしたい。また、警告看板の設置は必要であると認識し、課内で調整は済ませている。村内で同様の箇所が複数箇所あり、村内で128箇所を設置している。本件も看板設置をする予定で準備を進めている。



東恩納 寛政 議員

問2 陸間ゲートの運営

羽地内海の村道周辺の防波堤に陸間ゲートが3か所あり、2か所は運営しているが、1か所はゲートが未設置で扉がない。村として県に要請など、対策は行っているか伺う。
※陸間とは、高潮や津波の際に堤防の役割を果たす開閉式の門扉です。

答 村長

羽地内海に面する防波堤の陸間について、沖縄県の管理となっており、北部土木事務所に確認をしたところ、当該整備箇所について対応を検討するとの回答をいただいた。海岸管理者は、管理する海岸保全施設を良好な状態に保つよう維持、修繕し、海岸防護に支障を及ぼさないように努めなければならない。また、技術的基準などが定められると海岸法で謳われていると理解をしている。適切な維持管理を実施するよう、足並みをそろ

えて沖縄県に要請、要望をしてまいりたい。



用水路の擁壁が損壊している



陸間設置済



陸間未設置



不法投棄されたテレビ



水流が阻害されている

議決結果・賛否一覧表

「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「退」：退席 「公」：公務の欠席 「病」：法定伝染病の欠席。
議長は採決に加わらないため斜線としていますが、可否同数の場合に採決権があります。

議案番号	議案	議決結果 氏名	議長	1	2	3	議長	5	6	7	8	9	10	11
			座間 味靖	根路 銘弘美	島袋 輝也	上原 祐希		上間 聰	島袋 誠	與那 勝治	座間 味薫	山城 太	東恩納 寛政	
令和6年 第2回定例会 令和6年6月12日(水)														
報第2号	専決処分の報告について	報告	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
報第3号	専決処分の報告について	報告	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
報第4号	専決処分の報告について	報告	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
報第5号	専決処分の報告について	報告	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
報第6号	令和5年度今帰仁村一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
報第7号	令和5年度今帰仁村一般会計事故繰越し繰越計算書について	報告	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
令和6年 第2回定例会 令和6年6月20日(木)														
議第32号	今帰仁村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
議第33号	今帰仁村保育所設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
議第34号	今帰仁村母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
議第35号	旧校長住宅の管理に関する条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
議第36号	工事請負契約について	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
議第37号	沖縄県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
議第38号	あらたに生じた土地の確認について	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
議第39号	字の区域変更について	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
議第40号	令和6年度今帰仁村一般会計第1回補正予算について	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
議第41号	令和6年度今帰仁村国民健康保険特別会計第1回補正予算について	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
承第2号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
承第3号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
承第4号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
承第5号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
承第6号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
令和6年 第2回臨時会 令和6年8月1日(木)														
決第1号	議案 相次ぐ米軍関係者の性暴力事件に対する抗議決議	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
意見第1号	書面 相次ぐ米軍関係者の性暴力事件に対する意見書	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○
議第42号	令和6年度今帰仁村一般会計第2回補正予算について	可決	○	○	○	△			○	○	○	○	○	○

鹿児島県（与論町・和泊町・知名町・大崎町）視察研修

研修目的：議員個々の資質向上を図り、本村の地域づくりに活かす

日程：令和6年2月19日～22日（3泊4日） 参加議員：座間味靖 根路銘弘美 島袋輝也 座間味邦昭

【与論町】研修内容と所見

与論町と北山文化圏（今帰仁村）との関係については、琉球国北山王の三男王舅（オーシャン）が築城した歴史がある。グスクの中でも最大規模（3万平方メートル）を超える規模であり、今帰仁グスク、首里グスク、浦添グスクと同等の大型グスクである。現在、「与論城跡」の国指定に向けた事業に取り組んでいる。これまでの調査から築城技術は、今帰仁城跡の築城技術（版築等の土木技術）が確認されている。与論島から沖縄を見る眺望は、辺戸の山々や本部半島等が本当に大きく見える。

与論町の行政職員や議員から話を伺うと、歴史定背景や地理的、自然環境等から沖縄（琉球：今帰仁村）に対する物凄く熱い想いを抱いていると感じた。与論町と今帰仁村の関係人口創出の取り組みとして、今帰仁村と与論町との「友好都市」締結にむけた協議を進めていく必要がある。

意見・考察

与論町は、北山文化圏の中で未だ「友好都市」を結んでいない。締結に向けて早期の協議を図るべきと感じた。



▲龍頭の伝承碑

▲与論城跡
母国復帰記念碑



▲知名町昇竜洞

▲和泊町

【和泊町・知名町】研修内容と所見

和泊町地域おこし協力隊については、平成25年度から和泊町まちづくり協力隊を配置し集落支援の活動を行う。これまで6名の協力隊が活動を行い、活動終了後4名が移住し定住をしている。令和5年度は5名の地域おこし協力隊員が活動している。地域おこし協力隊員は、行政ではできなかった柔軟な地域おこし策、住民が増えることによる地域の活性化。協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与える。財政的にも特別交付税措置によりメリットがあり和泊町では積極的に取り組んでいる。

知名町地産地消協議会は、知名町内の生産農家や販売業者で構成されている。地産地消による地域内経済循環の確立と、安心安全な食品を購入する機会を消費者に提供することを目的に令和3年6月に設立された。地場農産物の学校給食活用推進へ向けて取り組んでいる。子どもたちが地場農産物を認識し、地元に誇りを持つことが期待される。また、地域伝統食の継承や知名ファーマーズマーケットを開催するなど、地域活性化を図る取り組みがなされている。

意見・考察

沖永良部島の和泊町と知名町は、少子高齢化による島のあらゆる産業の担い手不足や沖永良部島の抱える課題解決の手段として地域おこし協力隊や移住定住促進事業に取り組み、成果を上げている。このような取組は、今帰仁村でもとても参考になる施策であり、事業の展開の方法など学ぶべきものが多いと感じた。



【大崎町】研修内容と所見

大崎町は、焼却炉を持たず、家庭から排出されるごみは混合ごみとして全て埋立処分されていた。平成2年から平成16年まで使用する計画で設置された埋め立て処分場の残余年数が計画年数よりも早まることが問題となり、平成10年9月から缶、ビン及びペットボトルの分別を開始し、現在では、町民の協力のもと、27品目にわたる分別を実施し、リサイクル率80%を超えている。ごみの分別収集が定着したことで、現在では平成10年当時と比べて約84%の埋め立てゴミが削減されている。

意見・考察

高崎町のリサイクルシステムは、高崎町民との長い取り組みの成果だと思う。今帰仁村でも大型テーマパーク事業が進められていく中で村民生活にゴミ問題や交通の問題などの影響が出てくると思う。安心安全な地域づくりには、住民と行政と企業の協働・連携・信頼関係の構築が必要不可欠だと考える。今回の研修で学んだことを今後の議員活動に活かしていきたい。



▲堆肥工場

▲堆肥

元村議会議員 故 運天 政徹 氏 叙勲(旭日単光章)を受章



運天 政徹 氏



令和6年2月5日(月)に県庁6階特別室において、特旨叙位及び特別叙勲伝達式が執り行われました。本村から、故運天政徹氏が受章対象者となり、運天和彦さん(子)が式典に参加されました。

故運天政徹氏は昭和61年に村議会議員に初当選し、以来4期16年にわたり在職し、村議会議長、沖縄県町村議会議長会理事、北部市町村議会議長会会長、本部町今帰仁村消防組合議会議員などの要職を歴任されました。その功績が評価され、旭日単光章が授与されました。



石嶺美奈実氏が初当選 村議会議員補欠選挙



村議会議員の欠員に伴い、8月11日村議会議員補欠選挙が村長選挙と同日に行われ、新人で崎山区在住の石嶺美奈実氏(36)が初当選した。当選証書付与にあたり、石嶺氏は、「周りの方々の応援で当選することができた。

村民の中には村政に興味はあるが、どこから情報を得たらよいか分からない方が多くいる。

私の役目として、村政の情報を分かりやすく村民に伝え、村民の声を村長へ届けていきたい。また、若者や子どもたちに政治に興味をもってもらえるような働きをしていきたい」と抱負を語った。



兼次小学校



兼次小学校



天底小学校

村内小学校6年生議会傍聴

兼次小学校(6月13日)、天底小学校(6月14日)の6年生がキャリア教育の一環で議会の傍聴を行いました。写真は、休憩中の様子です。実際に、議場に入って議員席や執行部席に座り、それぞれの席から見た景色を体験しました。

編集後記

今回の人物紹介は、日

頃から猛暑の中ハウス作業を頑張っている姿を見て取り上げさせていただきました。今帰仁村ブランドスイカ栽培で今帰仁村を盛り上げていきたいと抱負を語っています。

また、崎山区の青年会長を務め、夏のエイサー祭りを企画し、練習では先頭に立って盛り上げ、成功に導いていました。現在は豊年祭の練習を頑張っていますが、今後も今帰仁村、崎山区の発展に寄与するものと思っています。

猛暑の中、農作業を頑張っている皆様には熱中症などに気をつけて、身体を壊さぬようお願いいたします。

(上間 聡)

広報委員長 座間味 靖
副委員長 根路銘弘美
委員 島袋 輝也
委員 上間 聡